10 LAS・11 LAS
安藤(森修正)

引 用 の 仕 方

■ 参考にした文献や資料は、レポートの末尾に次のように書く。

＜引用文献＞（複数の文献は、出てきた順に並べる。）
(1) 香山リカ（2002）『若者の法則』岩波新書、岩波書店
(2) 武内進一 （1994） 「コンゴ　名前の意味と変容」『第三世界の姓名』明石書店、pp.296-302
(3) 朝日新聞 2010 年 1 月 24 日朝刊 東京版 12 版 7 面「ツイッターは政治を変える？」

＜参考資料＞（読んだけれども引用しなかったもの。50 音順に並べる。）
日本経済新聞 2009 年 5 月 14 日朝刊 34 面「一家だんらん復活？」

＜参考ウェブサイト＞
平成 21 年版　少子化社会白書（最終アクセス日 2011 年 6 月 12 日）
http://www8.cao.go.jp/shoushi/whitepaper/w-2009/21pdfhonpen/21honpen.html

■ 引用
自分の書いたものと他人の書いたもの（考えたこと）を混同させてはいけない。

例１）引用が短い場合
香山リカ(精神科医)は、若者の敬語表現について「カタチだけの空疎な敬語と、心はこもっているがやや幼稚な若者風表現法、このふたつがうまく折り合うコミュニケーション法が、どこかにあるはず」(1)と書いている。

例２）引用が長い場合
香山リカ(精神科医)は、若者の敬語表現について次のように述べている。

> 「（前略）本当に相手を大事にするためには、これまでとは違う表現法を自分たちで作らなければ、と自然に思うようになっていったのかもしれない。
> とはいえ、その行き着く先が顔文字やシール、大げさなしぐさだけ、というのもやや寂しい。カタチだけの空疎な敬語と、心はこもっているがやや幼稚な若者風表現法、このふたつがうまく折り合うコミュニケーション法が、どこかにありはずなのだが。」(1)

私も顔文字については貧弱な表現方法であると常に感じていた。

■ 引用の表現
･･･と 述べている/言っている/書いている/説明している/指摘している/主張している、、、
･･･と 記述されている/書かれている/記されている、、、